
「秋のセミナー2020」オンライン開催（公開）のお知らせ（第一次案内）

評価と評価活動にどう取り組むか

企画趣旨：

コロナ禍の中で、教育現場は、さまざまな緊急事態対応に追われてきた。いまだ感染予防に気を付けながら、気の抜けない状況ではあるが、その中でも、むしろそういった状況だからこそ、子どもたちの学びをしっかりと捉えて実践を進めていくことが重要となっている。また、コロナ禍のために、現場では、新学習指導要領に基づく新しい学習評価をどうとらえ実践していけばよいのかについて学び考える機会が十分に提供されていない状況もみられる。そこで、この秋のセミナーでは、評価や評価活動の意味を再考するとともに、新学習指導要領の実施、さらにはそれに基づく学習評価のあり方を立ち止まって考えてみたい。

主催：日本カリキュラム学会（担当：広報・若手育成委員会）

1. 日程：2020年11月8日（日）13:30～16:30

2. 報告者とタイトル（仮）：

遠藤貴広（福井大学准教授）

「学習評価の実践をめぐる論点—熟議的コミュニケーションとしての評価への展望—」

堀 哲夫（山梨大学名誉教授）

「理科の学習指導の改善に生かす評価—OPPAを中心に—」

増田 陽（東京都公立小学校教諭）

「評価という窓からのぞく教室の景色」

3. 参加費、参加資格：

無料です。公開ですので、会員以外の参加も可能です。

4. 参加方法：

オンライン開催（事前登録制の予定）の詳細は、[学会 HP](#) で後日お知らせします。

問い合わせ先：日本カリキュラム学会事務局（jscs@nifty.com）

※「秋のセミナー」は、日本カリキュラム学会の社会貢献的行事として、すべての学校関係者及び教職を目指す学生・院生、報道機関関係者、研究者に公開しています。今回はオンライン開催（事前登録制の予定）です。多数のご参加をお待ちしております。